

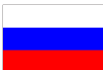
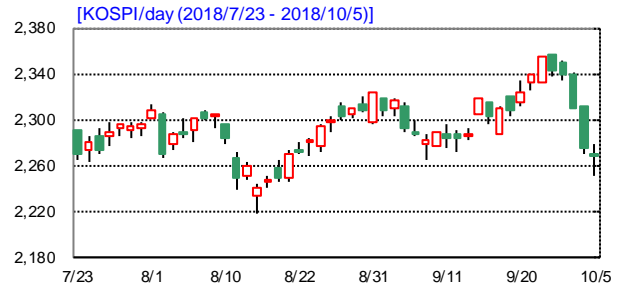


## 【韓国】 総合指数は週間で 3.2%安と 4 週ぶり反落、今週も米金利上昇を警戒か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 3.2%安と 4 週ぶりに反落した。3 日が開天節（建国記念日）のため休場となり 4 日間の取引。1 日に下落して始まると 5 日まで続落下値を迫る展開となった。米国市場でナスダック総合が下落して主要ハイテク株が売られたほか、週後半は米長期金利の上昇で韓国ウォンが対米ドルで下落し、資金流出に対する警戒感が地合いを悪化させた。5 日終値は 8 月 20 日以来、1 カ月半ぶりの安値を付けた。今週は 9 日が「ハングルの日」で休場。安値圏での買い戻しが入りやすい環境だが、米株式相場や米長期金利の動向をにらみ神経質な展開か。経済指標では 11 日に外貨準備高、12 日に雇用統計が発表される。地政学リスクを巡り、ポンペオ米国務長官が 7 日に北朝鮮と韓国を訪問した後、8 日に中国を訪問する。

### ▼指数チャート

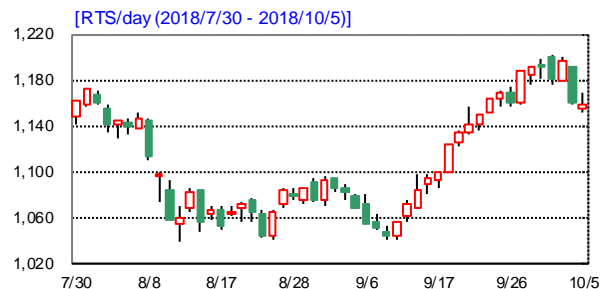


## 【ロシア】 RTS 指数は 2.7%安と 4 週ぶり反落、今週はドルの先高観で上値重いか

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 2.7%安と 4 週ぶりに反落。前週までの 3 週続伸で高値警戒感が高まる中、貿易摩擦への警戒感やイタリアの政局不安とそれに伴う欧州株安、ドル高・ルーブル安の進行などで売り優勢の展開となった。RTS 指数は週明けから 3 日目ではもみ合いとなったが、4 日に前日比 2.9%安と大幅に下落。為替市場では米長期金利の上昇を受けてドル高・ルーブル安が進み、資金流出懸念が強まった。指数採用銘柄では、原油高が好感されてガスプロム (4.9%高)、ロスネフチ (2.0%高)、ノヴァテク (1.3%高) などのエネルギー株が上昇したものの、時価総額の大きい金融のズベルバンク・オブ・ロシアが 7.9%安と急落し、指数を押し下げた。今週はドルの先高観や原油相場の高値警戒感を背景に上値の重い展開か。

### ▼指数チャート



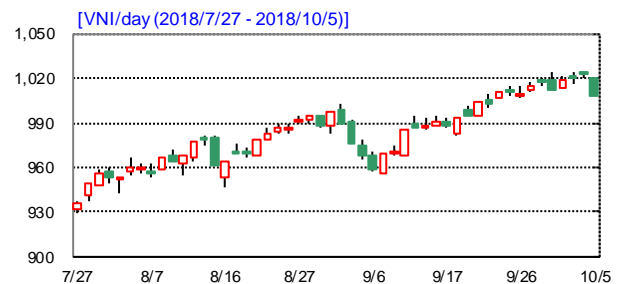
## 【ベトナム】 ベトナム指数は 0.9%安と 4 週ぶり反落、今週も資金流出懸念が重し

か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 0.9%安と 4 週ぶりに反落。4 日まで 3 日続伸と堅調に推移したが、米長期金利の大幅上昇を受けて資金流出懸念が強まり、週末に大幅安となった。週明け 1 日は弱い中国経済指標を受けて下落したものの、その後は堅調に推移。ただ、5 日は米経済指標の上振れや米金融当局者のタカ派的な発言を受けて米長期債利回りが 7 年超ぶりの高水準となったことで新興国からの資金流出懸念が強まった。指数は 5 日に前日比 1.5%安と大幅に反落し、前週末の水準を割り込んで引けた。空運のベトジェット航空 (5.5%安)、不動産のビンホームズ (3.7%安)、乳業のベトナム・デイリー・プロダクツ (1.5%安) など時価総額上位銘柄の下落が指数を押し下げた。今週は新興国からの資金流出懸念が引き続き重しとなるか。

### ▼指数チャート

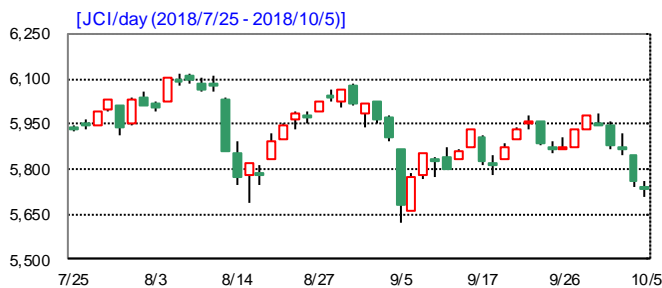


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 4.1%安、20年ぶりのルピア安を嫌気**

ジャカルタ総合指数は週間で4.1%安と4週ぶりに反落。週初から5日続落と低迷した。1日は9月のCPI上昇率が前年同月比2.9%と16年8月以来の低い伸びとなり、物価上昇圧力が和らいだものの買い材料にならず、指数は3営業日ぶりに反落。2日は米ドルに対するルピアが約20年ぶりの安値を更新したことが嫌気され、終値ベースで前日比1.2%安と5900ポイントを割り込んだ。4日は米10年債の利回りが好調な経済指標を背景に11年7月以来の高水準に達したことで新興国からの資金流出懸念が台頭し、指数は前日比で1.9%下落した。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因に左右される展開か。

### ▼指数チャート

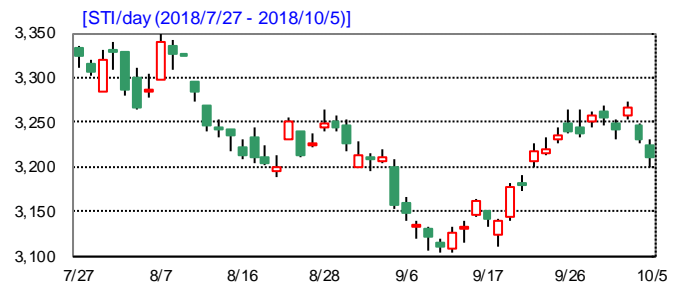


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 1.5%安、今週は12日に7-9月期のGDP速報値発表**

ストレーツタイムズ指数は週間で1.5%安と4週ぶりに反落。週半ばの反発を除き軟調な値動きだった。週初の1日は前日に発表された中国の9月の公式製造業PMIと財新製造業PMIとともに前月を下回った影響で反落すると2日も続落。3日は前日の取引終了後に発表されたシンガポールの9月の製造業PMIが52.4と前月を0.2ポイント下回ったが、前日までの反動で指数は上昇した。ただ、4日に米長期金利の上昇が嫌気され前日比1.1%下落すると、5日も続落して引けた。今週は12日に7-9月期のGDP速報値と8月の小売売上高が発表される予定で、前年同期比のGDP成長率が3%台を維持できるかが焦点。

### ▼指数チャート

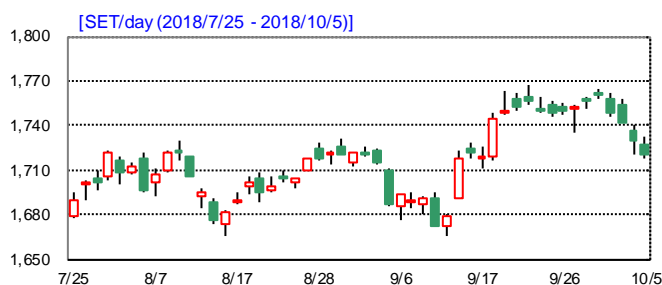


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET指数は 2.0%安、今週は外部要因が焦点**

SET指数は週間で2.0%安と4週ぶりに反落。週初は前週半ばからの流れで上昇したが、その後はじりじりと下値を広げた。1日はエネルギー株と素材関連株が買われ、指数は4営業日続伸。一方、2日は国際通貨基金(IMF)のラガルド専務理事が前日の講演で、米中貿易摩擦が世界経済の成長見通しに影響し始めているとの見解を示したことが嫌気され反落した。4日は米長期金利の上昇に加え、9月のタイの消費者信頼感指数が82.3と前月を下回ったことなどで売られると、結局5日まで4日続落して引けた。今週は国内の経済イベントが少なく、12日に発表される中国の9月の貿易統計など外部要因が焦点。

### ▼指数チャート

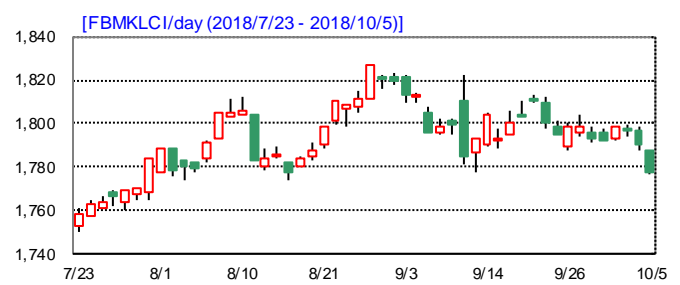


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.9%安、アルミニウム価格上昇でプレス・メタルに買い**

クアラルンプール総合指数は週間で0.9%安と続落。週後半の下落が響いた。週初の1日はブレント原油価格が約4年ぶりの高値を更新したことを受けてエネルギー株が買われたものの補えず、小幅ながら3営業日続落。2日は反発したが、その後は買い材料に乏しく、特に5日は8月の輸出が前年同月比0.3%減と6カ月ぶりにマイナスに転落したことが嫌気された。個別の銘柄では、ノルウェーのノルスク・ハイドロがブラジルで稼働するアルミナ精錬所を一時閉鎖すると発表したことを受けたアルミニウム価格の上昇で、4日にプレス・メタルが買われた。今週は11日に8月の鉱工業生産が発表される予定。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。